

新木場 木まつり 2014 夏

木のことをもっと知ってもらおう, もっと使ってもらおう

2014年9月6日 (土)
9時45分～16時45分

(集合場所: つくばエクスプレス つくば駅)

参加費無料・定員150名 (事前申込制)

下記のJIA埼玉(日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会事務局)まで、
連絡先(電話番号, Fax番号, メールアドレス等)を明記のうえ、
お申し込みください。後日、詳細を返信します。

Fax : 048-882-7526 (JIA埼玉)

Mail : aru3@f2.dion.ne.jp

プログラム

第1部 木材市場で競りの見学会

会場: 東京木材相互市場

第2部 フォーラム

「住み心地よい住まいを求めて—日本建築が受け継いできたもの2—」

会場: つくば国際会議場



新
木
場



ま

つ
り

2014

夏

主催 新木場倶楽部+(株)東京木材相互市場 / 協賛 東京原木協同組合 (株)鴨川商店 (株)山康商店
企画 新木場倶楽部+JIA埼玉 / この事業は平成26年度江東区中小企業振興事業補助金の助成を受けて実施しています。

お問い合わせ先: 新木場倶楽部事務局 (江東区新木場3-7-1 (株)山康商店内) tel: 03-3521-8821

プログラム詳細

9:45 つくばエクスプレス 終点 つくば駅 改札口集合 貸切バスで 東京木材相互市場 へ。

第1部 見学会

木材問屋には市売りと付売り、二つの形態があります。市売問屋は市場を開き、複数の買手が相互に値段を競うせり売りによって販売する問屋です。一方、一対一の相対販売が付売りで、製材所や市売問屋から木材を買い付けた付売問屋は、取引量や互いの信用状態によって、売手と買手の話し合いで値決めをし、取引します。町場の材木屋も新木場内の材木問屋も、その多くが付売問屋で、最も馴染み深い材木問屋の形態です。

市売問屋は買方組合の権利を持つ仲買商を対象に販売するので普段は入れない現場ですが、今回の見学会は(株)東京木材相互市場の特別な協力で実現しました。相互筑波市場で関東最大規模の「せり」を見学することができるめったにない機会です。材木の流通現場の雰囲気を肌で感じ取ってください。

会場：東京木材相互市場 (〒300-2635 茨城県つくば市東光台 5-3)

10:30 市売りの「せり」を見学 [解説 山崎 尚 (新木場倶楽部 代表 / (株)山康商店 代表取締役社長)]

12:00 食 事

13:00 貸切バスで「つくば国際会議場」へ

第2部 フォーラム「住み心地よい住まいを求めて -日本建築が受け継いできたもの2-」

この風土の建築を支えてきた構法は木造で、その主要材料は木材です。江東区新木場はその流通の要としての役割を果たしてきました。「新木場木まつり」は、その木造技術を次代に伝えるための情報を新木場から発信するフォーラムです。今回はゲストに安藤邦広先生を迎え、日本建築の多様性を「板倉」の伝統の中に見出し、それを震災の復興住宅などで現代に応用した事例を紹介していただく基調講演を中心に「日本建築が受け継いできたもの」というテーマで、昨年の春につづきパネルディスカッションを展開するフォーラムを計画しました。

会場：つくば国際会議場 中会議室201 (〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-3)

13:30 開 場

14:00 挨拶 山崎 尚

14:05 基調講演「板倉に見る日本建築の多様性」

講 師：安藤 邦広 (筑波大学名誉教授 里山建築研究所 主宰)

15:20 休 憩

15:30 パネルディスカッション (16:45 終)

パネリスト：安藤 邦広

内田 祥哉 (東京大学名誉教授 内田祥哉建築研究室 主宰)

司 会：三浦 清史 (JIA埼玉事務局 こうた建築設計事務所 主宰)

新木場木まつり2014夏 FAX申込票

氏名(代表者)：	参加人数：_____名
連絡先(Fax番号、電話番号、Mailアドレス等)：	

送信先(Fax)：048-882-7526

[JIA埼玉(日本建築家協会関東甲信越支部埼玉地域会)事務局]

8月25日までにお申し込みください。後日、詳細を返信します。

お申し込みはMailでも受け付けています。上記の内容を下記アドレスにお送りください。

Mail:aru3@f2.dion.ne.jp (担当：三浦清史)